



内田正男 議員

農業従事者の高齢化による農地管理は

町長 集落営農方式の取り組みを促したい



問 本町第一の特産品に多米の将来は、水田1,732町歩の農業従事者の高齢、高齢化に伴う農地維持管理の方向性は。

答 基本的には集落営農方式で、有限会社、農事組合等による農地の集約化も進んでおり、可能であれば地域で集落営農に取り組み機運を広めていただき、県の普及部等とも連携しながら取り組みを促してまいりたいと考えております。

問 農地管理支援補助金の総額は。

答 系原農業振興課長 中山間直接支払3億1

千5百万円、農水保全管理交付金の内、共同活動の部分1億7百万円、向上活動分4千2百万円、合計4億6千5百万円余り予定です。

問 奥出雲町での米の販売総額と比較して比率は何%か。

答 13億円程度と推計され、およそ35%程度とっております。

問 現在の活動している営農集団の数と動向は。

答 集落営農農業生産法人13法人、有限会社組織農業生産法人3社で255haです。

問 営農集団の方々は、奥出雲町の水田面積何%維持管理しているか。

答 本町の水田面積1,732haに対して14%になります。

問 営農集団への町の指導や研修、営農手段の農機具や格納庫等の修理にかかる、支援補助金の有無はどうか。

答 これらの組織におきまして、農作業、税務、経営研修会等の開催、農業用機械や施設の整備、農地の集積等に対し国や県の補助金があります。管理で排水路周辺の

草刈など難渋する、用排水路にふたは、また排水路の側面に張りコン等に該当する支援補助金は。

答 農地、水保全管理支払交付金の活用は出来ます、単に用排水路にふた、コンクリート張りの補助制度はないです。

問 奥出雲町の除雪対応は迅速で的確な対応であります。22年度決算の除雪支出総額約1億1千万円、この歳入、財源構成について、特別交付税を含めてどうであったか。

答 藤原企画財政課長 特定財源として国から臨時市町村道除雪事業費補助金2千3百万円、県除雪委託費約1千3百万円。残る7千4百万円は交付税と一般財源で賄っています。

問 降雪地の町村で飯南町、美郷町などの比較は。

答 飯南町6千7百万円、美郷町2千7百万円です。

問 平成22年度の雪害件数は、また修繕費全部でいくらか。

答 森長財産管理室長 件数38施設、修繕費約6千百万円すべて限度内で全額共済より支出です。

問 10年余りの建築物、屋根修理費が頻繁である、材料の形状、構造に起因するので設計に考慮は。

答 松島建設課長 積雪荷重等を十分検討し、材料や下地材の寸法なども検討、建物の方位、屋根向き等も考慮いたし、雪害を受けにくい構造パランスの良い設計を考えっております。

問 指定管理者は、被害発生の際の心配をして屋根の雪おろし、町に、申請は困難と見受けられている。

答 昨年のような非常事態に、補正予算等で対応が一般的と認識しており、雪害を防ぐことも大切で、降った物も何とか、災害対応の認識のもとに取り組を考えております。

問 歴史と伝統の民衆行事に、町、あるいは観光協会から、祭事として特に助成支援している祭りがあるか。

答 町の観光協会の方で、助成支援を三成愛宕祭りと、横田のだんだんフェスタ、この2つであると承知しています。